

基調講演

学習意欲向上や途中退学の防止に向けて ＝ToMoを活用した学生支援＝

大学、専門学校に進学したものの、目的意識を見い出せずにやる気が減少したり、周りのメンバーとうまく交流を図ることができずに孤立するなどの結果として、退学する学生が少なくありません。

このような問題に対して、どのような施策を講じることが有効なのでしょうか。今回は、近年注目されているトータルモチベーション（ToMoトモ）という概念をヒントに、具体的な実践方法を明らかにしていきます。

講演概要

書籍「マッキンゼー流 最高の社風のつくり方」で紹介され、広く知られることになったToMoという概念。（総合的動機の数値化により組織改善を図る考え。）近年の研究では、ToMoと学生の途中退学に相関関係があることが分かってきました。

このToMoの概念や測定方法を理解するとともに、指数を向上させるための学生支援の方策を考えていきます。

<プログラム>

1. 意欲の見える化「ToMo」とはなにか
2. 自分自身のToMoの測定
3. ToMoを向上させる取り組み事例の共有
4. 実践方法の体験「キャリアシート」の活用

栗林裕也先生のプロフィール概要

公益財団法人 日本生産性本部 人材開発コンサルタント
国家資格キャリアコンサルタント、白百合女子大学非常勤講師

早稲田大学政治経済学部卒業後、民間会社を経て現職。キャリア分野の研究や企業内でのコンサルティング、能力開発の研修に従事。

生きがいと働きがいを感じつつ、その人らしさの発揮が強みとなって現れ、目的を達成することができるよう、「人」と「組織」の支援を行っている。

<実績> 厚生労働省認定「キャリアコンサルタント養成講座」講師

企業/教育機関内コンサルティング・研修（経済産業省、ANA、東京センチュリーなど多数）